ソフトウェア・シンポジウムのご説明

ソフトウェア技術者協会について ---------- 2

ソフトウェア・シンポジウムの歴史　その 1 ---------- 3
第 46 回 Software Symposium 2026
第 45 回 Software Symposium 2025

ソフトウェア・シンポジウムの歴史　その 2 ---------- 8
第 44 回 Software Symposium 2024
:
第 1 回 Software Symposium 1980

ソフトウェア技術者協会について

ソフトウェア技術者協会(SEA)は，ソフトウェアハウス，コンピュータメーカ，計算センター，エンドユーザ，大学，研究所など，それぞれ異なった環境に置かれているソフトウェア技術者あるいは研究者が，そうした社会組織の壁を越えて，各自の経験や技術を自由に交流しあうための「場」として，1985年12月に設立されました．

その主な活動は，機関誌SEAMAILの発行，支部および研究分科会の運営，セミナー/ワークショップ/シンポジウムなどのイベントの開催，および内外の関係諸団体との交流です．現在では，北は北海道から南は沖縄まで，設立の趣旨に賛同する多数の個人会員を擁するにいたりました．また法人賛助会員制度もあり，セミナーやワークショップへの社員の参加などに利用されています．支部は，東京以外に，関西，横浜，名古屋，九州，東北，広島，上海の各地区で設立されており，その他の地域でも設立準備をしています．分科会は，東京，関西，名古屋で，それぞれいくつかが活動しており，その他の支部でも，月例会やフォーラムが定期的に開催されています．

「現在のソフトウェア界における最大の課題は，技術移転の促進である」といわれています．これまでわが国には，そのための適切な社会的メカニズムが欠けていたように思われます．SEAは，そうした欠落を補うべく，これからますます活発な活動を展開して行きたいと考えています．いままで日本にはなかったこの新しいプロフェッショナルソサイエティの発展のために，ぜひとも，あなたのお力を貸してください．

代表幹事

本多慶匡

幹事

荒木啓二郎　石川雅彦　伊藤昌夫　小笠原秀人　岡本圭史　小川明彦　落水浩一郎
熊谷　章　栗田太郎　小林　修　小松久美子　酒匂　寛　杉田義明　鈴木裕信
富松篤典　中谷多哉子　中山優紀　奈良隆正　野村行憲　端山　毅　三輪　東
宮田一平　米島博司

名誉会員

荒木啓二郎　熊谷章　玉井哲雄　松原友夫　山崎利治　落水浩一郎　杉田義明
奈良隆正

会計監事

中森博晃　乗松　聡

事務局

Office@sea.jp

〒157-0073 東京都世田谷区砧二丁目17番7号

株式会社ニルソフトウェア内

ソフトウェア技術者協会　事務局　伊藤昌夫

TEL: 03-6805-8931

ソフトウェア・シンポジウムの歴史　その１

第１回目のソフトウェア・シンポジウムは，1980年の末に開催された．主催は，ソフトウェア産業振興協会(当時)の技術委員会(SIA/TC)であった．

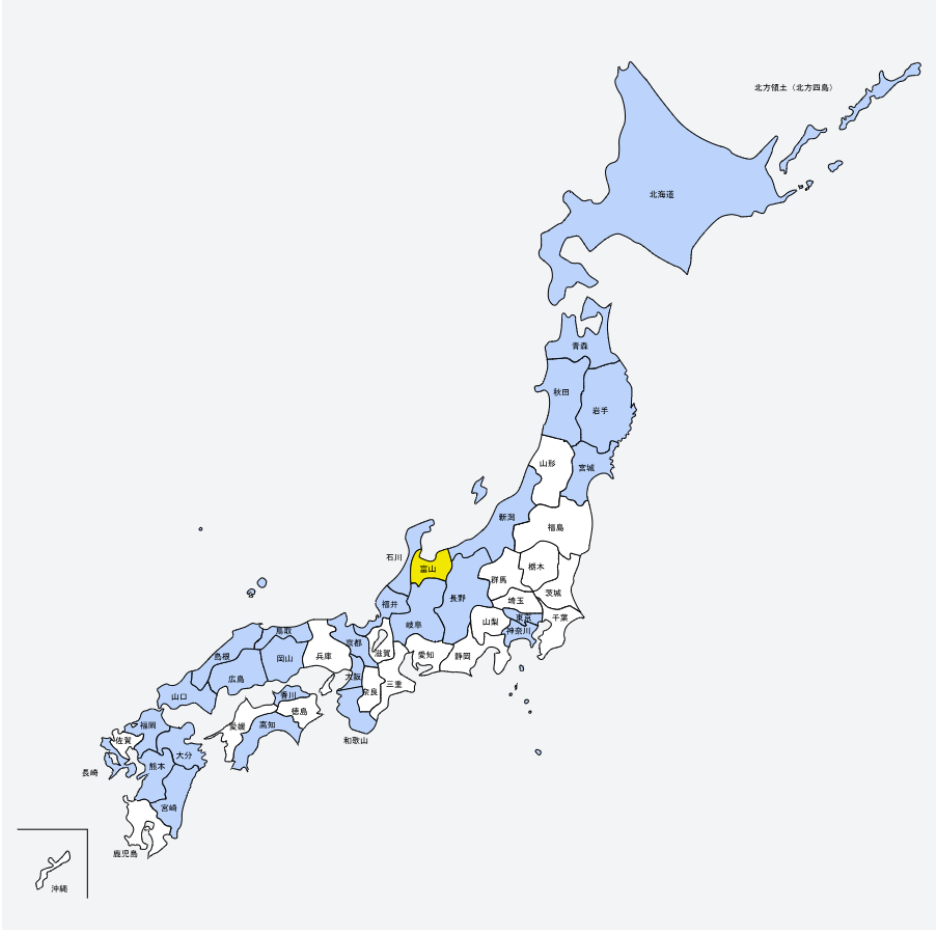
通常のアカデミックなコンファレンスとはちがって，開発現場で働くソフトウェア技術者たちが，自らの経験を通じて獲得した実践的な技術や知識を交流する場が必要だという認識は，この委員会の発足当時から強く存在していたのだが，ある技術調査のためのワーキング・グループ活動をきっかけとして，その成果発表を兼ねたイベントとして，このシンポジウムが企画されたのである．

それからほぼ１年後の1982年冬には，第２回目がやはり同様なコンテクストで開催された．この２回のプロトタイピングの成功にもとづいて，翌1983年以降のソフトウェア・シンポジウムは，毎年６月に定期的に開催されるようになった．

[*] ただし 2002年はサッカー・ワールドカップの混乱を避けて７月開催．

1984年6月に，ソフト協（SIA）とセンター協（JIPCA）が合併して，新しい 業界団体として情報産業振興協会（JISA）が結成され，シンポジウムの主催は，この新しい協会の技術委員会(JISA/STC）に移ったが，もともと，単なる業界団体の枠組みの中での活動にあきたらず，もっと広い場での技術者・研究者の交流を意図していたメンバーたちを中心に，翌1985年の12月には，ソフトウェア技術者協会(SEA)が創立された．そして，このシンポジウムは，SEA が主宰するさまざまなイベントのうちのメインの技術シンポジウムとして，今日に至っている．

1980年代には，開催場所はすべて東京であったが，1990年代に入ってからは，地域情報化への貢献を考慮して，毎回適当な地方都市を巡歴することが通例になっている．



第 46 回 Software Symposium 2026 (https://www.sea.jp/ss2026/)

期日：2026 年 6 月 10 日（水曜日）～ 12 日（金曜日）
会場：ハイブリッド（海峡メッセ下関、Zoom）
参加者：110 名
主催：ソフトウェア技術者協会
後援： 独立行政法人　情報処理推進機構
協賛：AI・IoT 普及推進協会，IT システム可視化協議会，アジャイルプロセス協議会，
オープンソースソフトウェア協会，組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会，
組込みシステム技術協会，ソフトウェアテスト技術振興協会，情報サービス産業協会、
情報処理学会，電子情報通信学会，TOPPERS プロジェクト，日本科学技術連盟，
派生開発推進協議会，PMI 日本支部，日本ソフトウェア科学会，日本 SPI コンソーシアム
実行委員長：神林 靖（山口東京理科大学），日下部 茂（九州工業大学）
プログラム委員長：熊澤 努（山口東京理科大学/SRA），
田中 康（プレップ・テクノロジーズ／奈良先端科学技術大学院大学）

ワーキング・グループ：10
WG1：AI 時代のアジャイルと品質
WG2：「OSS 嫌い」はどこから来るのか
WG3：求ム勇者！AI エージェントと戦う仕様記述の会
WG4：トリセツ＃１０「学ぶ」ことの再考 ～ 情報氾濫と AI は思考の肥やしか brain rots か ～
WG5：複雑化するシステムに立ち向かう！ AI 時代のソフトウェア保守と技術的負債の予防箋
WG6：ソフトウェアエンジニア教育で何を教える？教えない？ ～新時代の技術者育成とは～
※ 今回、WG6 と WG10 は合同で開催します。
WG7：【強み駆動開発】チームのプロセス改善を、バグ探しから強み探しで
※ 参加希望者数の都合により、今回は開催を見送らせていただきます。
WG8：AI 時代の上流力：問いをつくるエンジニア AI で仕事は消える？
－ソフトウェア技術者の次の武器－
WG9：生成 AI 時代の開発プロセスとその改善・教育
※ 今回、WG8 と WG9 は合同で開催します。
WG10：ソフトウェア開発の現状と今後の発展に向けたディスカッション

キーノート(1)　ドローンが切り拓く「空飛ぶソフトウェア」の世界
秋葉 良和 氏（株式会社 A-commerce 代表取締役、ドローンインストラクター）
司会：日下部 茂（九州工業大学）

キーノート(2)　ヘルスリテラシーを高めるためには
～これからの AI・ソフトウェアに期待していること～
金子 法子 氏（針間産婦人科 院長）
司会：小笠原 秀人（千葉工業大学）

キーノート(3) 都市部および山間部における避難支援システムへのマルチエージェントアプローチ
神林 靖 氏（山口東京理科大学 教授）
司会：熊澤 努（山口東京理科大学/SRA）

論文投稿数／採択数：25 / 24
〈内訳〉 研究論文：11/10, 経験論文：7/9, 事例報告：2/1, Future Presentation：5/4

■最優秀論文賞
ソフトウェア工学タスクにおけるLLMカスケードのコスト削減効果
佐久間 一颯, 大平 雅雄（和歌山大学）

組合せデザインを用いたGreen LIMEの摂動設計
三谷 雄大, 地嵜 頌子（大阪工業大学), 熊澤 努（山口東京理科大学／SRA）

■論文奨励賞
マイクロコントローラ向けNDNプロトコルスタックの設計と実装
加藤 颯, 松澤 智史（東京理科大学）

ホワイトボックステストの熟練度向上を目指したゲームシステムの試作開発
近藤 潤之介, 西浦 生成, 水野 修（京都工芸繊維大学）

■最優秀発表賞
体験型ワークショップによるソフトウェアテストと品質意識の変化
－ 現場適用を見据えたGxDojoでの実践 －
常盤 香央里（グロース・アーキテクチャ＆チームス）

第 45 回 Software Symposium 2025 (https://www.sea.jp/ss2025/)

期日：2025 年 6 月 11 日（水曜日）～13 日（金曜日）
会場：ハイブリッド（岡山コンベンションセンター、Zoom）
参加者：129 人
主催：ソフトウェア技術者協会
後援：独立行政法人 情報処理推進機構
協賛：システムエンジニアリング岡山，ソフトウェアテスト技術振興協会，
アジャイルプロセス協議会、オープンソースソフトウェア協会，
情報サービス産業協会，情報処理学会，日本ソフトウェア科学会，
組込みシステム技術協会，日本 SPI コンソーシアム，
IT システム可視化協議会，派生開発推進協議会，日本科学技術連盟，
組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会，TOPPERS プロジェクト，
PMI 日本支部
実行委員長：中本 幸一（ノートルダム清心女子大学），門田 暁人（岡山大学）
プログラム委員長：天嵜 聡介（南山大学），熊澤 努（山口東京理科大学/SRA）
ワーキング・グループ：9
WG1：アジャイル開発での品質を議論しよう
WG2：エンジニアのトリセツ #9 「GAI（生成 AI）のトリセツを考える」
～ GAI 君はチームメンバになれるか？ ～
WG3：モデリングソン
WG4：技術的負債との付き合い方をソフトウェア保守開発プロセスから考える
WG5：SigSQA 分科会新しい品質保証のかたちを目指して SS2025
WG6：ABCZ 擬人化方式を用いた「ものグラミング 2」向け
IoT 機器開発手法の実体験ワーキンググループ（略称：ABCZ ワーキンググループ）
WG7：ソフトウェア開発のシンギュラリティとエンジニアの行方
WG8：システム要件と問題空間設計
WG9：ソフトウェア開発の現状と今後の発展に向けたディスカッション

チュートリアル：1
TS1：ソフトウェアテストプロセスを AI の力で進化させる：実践的アプローチ

キーノート(1)：産学官が連携した DX 人材育成に向けた様々なアプローチ
～生成系 AI の活用とサイバーセキュリティの観点から～
野上 保之 教授（岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域）
司会：門田 暁人（岡山大学）

キーノート(2)：北大発ベンチャーAWL/エッジ AI 技術の社会実装：
グローバルメンバーとともに、小売から多領域への事業拡大
土田 美那氏（AWL 株式会社 上席執行役員 CHRO 新規事業開発担当）
司会：小笠原 秀人（千葉工業大学）

キーノート(3)：未来を創造する DX とは～ビジョン起点の組織変革とイノベーション共創～
藤原 加奈氏（株式会社フジワラテクノアート 代表取締役副社長）
司会：中本 幸一（ノートルダム清心女子大学）

論文・Future Presentation・報告セッション: 6
論文採択数：19（研究論文 12 本, 経験論文 4 本, 事例報告 2 本, FP 1 本）

■最優秀論文賞
[研究論文]
試行錯誤を支援するための履歴管理フレームワークの試作
小田 朋宏（SRA）

■論文奨励賞
[研究論文]
要求仕様化工程で行うステークホルダのゴールに関する分析手法の提案
小林 百恵（放送大学大学院）

[研究論文]
Github 上のソフトウェア開発者の貢献タイプの定量的分析
益田 拓実（岡山大学）

■最優秀発表賞
[事例報告]
A2P2：AI Assisted Programming Process
酒匂 寛（デザイナーズデン）

■優秀発表賞
[事例報告]
au PAY Web システム品質改善活動
小松 優太（KDDI), 常盤 香央里(Graat)

ソフトウェア・シンポジウムの歴史　その2

第 44 回 Software Symposium 2024

期日：2025 年 6 月 11 日（水曜日）～13 日（金曜日）
会場：ハイブリッド（岡山コンベンションセンター、Zoom）
参加者：129 人
実行委員長：中本 幸一（ノートルダム清心女子大学），門田 暁人（岡山大学）
プログラム委員長：天嵜 聡介（南山大学），熊澤 努（山口東京理科大学/SRA）

第 43 回 Software Symposium 2023

期日：2023 年 6 月 12 日（月曜日）～14 日（水曜日）
会場：ハイブリッド（仙台国際センター 展示棟、Zoom）
参加者：127 人
実行委員長：澤田 惠介（仙台高等専門学校），福川 優（パイオニアシステムテクノロジー）
プログラム委員長：岡本 圭史（仙台高等専門学校），根本 紀之（東京エレクトロン）
プログラム副委員長：小楠 聡美（HBA）

第 42 回 Software Symposium 2022

期日：2022 年 6 月 8 日（水曜日）～10 日（金曜日）
会場：いわて県民情報交流センター（アイーナ） → オンランとのハイブリッド開催
参加者：100 人
実行委員長：漆原 憲博（ジェーエフピー），野村 行憲（ワイノムラドットコム）
プログラム委員長：岡本 圭史（仙台高等専門学校），小田 朋宏（SRA）

第 41 回 Software Symposium 2021

期日：2021 年 6 月 2 日（水曜日）～ 4 日（金曜日）
会場：J:COM ホルトホール大分 → オンライン開催
参加者：127 人
実行委員長：森 秀文（大分県情報サービス産業協会），吉田 和幸（大分大学）
プログラム委員長：梅田 政信（九州工業大学），小田 朋宏（SRA），日下部 茂（長崎県立大学）

第 40 回 Software Symposium 2020

期日：2020 年 6 月 17 日（水曜日）～ 18 日（木曜日）
会場：いわて県民情報交流センター（アイーナ） → オンラン開催
参加者：154 人
実行委員長：野村 行憲（岩手県立産業技術短期大学校），漆原 憲博（ジェーエフピー）
プログラム委員長：日下部 茂（長崎県立大学），河野 哲也（ディー・エヌ・エー）

第 39 回 Software Symposium 2019

期日: 2019 年 6 月 5 日（水曜日）～ 7 日（金曜日）

会場：熊本市国際交流会館

参加者：153 名

基調テーマ：Evolution of SE Technologies: Looking Back and Looking Forward

実行委員長：荒木 啓二郎（熊本高等専門学校)、富松 篤典（電盛社）

プログラム委員長：栗田 太郎（ソニー)、末吉 敏則（熊本大学）

第 38 回 Software Symposium 2018

期日: 2018 年 6 月 6 日（水曜日）～ 8 日（金曜日）

会場：かでる 2・7（札幌）

参加者：107 名

基調テーマ：魅力的な「ソフトウェア開発」を目指して

実行委員長：中野 秀男（帝塚山学院大学)，本多 慶匡（東京エレクトロン）

プログラム委員長：安達 賢二（HBA)，

落水 浩一郎（University of Information Technology, Myanmar）

第 37 回 Software Symposium 2017

期日: 2017 年 6 月 7 日（水）～ 9 日（金）

会場： 宮崎市民プラザ

参加者：120 名

基調テーマ：開かれたソフトウェア開発

実行委員長：荒木 啓二郎（九州大学)，小笠原 秀人(東芝)

プログラム委員長：片山 徹郎（宮崎大学)，栗田 太郎（ソニー）

第 36 回 Software Symposium 2016

期日: 2016 年 6 月 5 日（日）～ 8 日（水）

会場： 米子コンベンションセンター BIG SHIP

参加者：115 名

基調テーマ：魅力的な「ソフトウェア開発」

実行委員長：宮田 一平（アイエックス・ナレッジ)，松本 健一（奈良先端科学技術大学院大学）

プログラム委員長：小笠原 秀人（東芝)，大平 雅雄（和歌山大学）

第 35 回 Software Symposium 2015

期日: 2015 年 6 月 14 日（日）～ 17 日（水）

会場： 県民交流プラザ・和歌山ビッグ愛

参加者：127 名

基調テーマ：ソフトウェア開発の未来

実行委員長：鯵坂 恒夫（和歌山大学), 新谷 勝利（新谷 IT コンサルティング）

プログラム委員長：小笠原 秀人（東芝), 西 康晴（電気通信大学）

プログラム副委員長：大平 雅雄（和歌山大学）

第 34 回 Software Symposium 2014

期日： 2014 年 6 月 8 日（日）～ 11 日（水）

会場: 秋田市にぎわい交流館 AU（あう）

参加者： 137 名

基調テーマ：技術革新

実行委員長: 落水 浩一郎（北陸先端科学技術大学院大学）

新谷 勝利（新谷 IT コンサルティング）

プログラム委員長: 西 康晴（電気通信大学), 野村 行憲（アイシーエス）

第 33 回 Software Symposium 2013

期日: 2013 年 7 月 7 日（日曜日）～ 10 日（水曜日）

会場: 長良川国際会議場

参加者： 140 名

実行委員長： 奈良 隆正（ＮＡＲＡコンサルティング), 山本 修一郎（名古屋大学）

プログラム委員長： 野呂 昌満（南山大学), 端山 毅（ＮＴＴデータ）

第 32 回 Software Symposium 2012

期日： 2012 年 6 月 12 日（火）～ 14 日（木）

会場： AOSSA（福井市）

参加者： 143 名

実行委員長: 中野 秀男（大阪市立大学）

プログラム委員長: 伊藤 昌夫（ニルソフトウェア), 栗田 太郎（フェリカネットワークス）

鈴木 正人（北陸先端科学技術大学院大学）

第 31 回 Software Symposium 2011

期日： 2011 年 6 月 8 日（水）～ 10 日（金）

会場： 長崎ブリックホール(長崎県長崎市)

参加者： 109 名

実行委員長: 中野 一英（NDKCOM), 田中 一夫（アイエックス・ナレッジ）

プログラム委員長: 栗田 太郎（フェリカネットワークス), 楢崎 修二（長崎大学）

第 30 回 Software Symposium 2010

期日： 2010 年 6 月 9 日(水)～11 日(金)

会場： 横浜市開港記念会館(神奈川県横浜市)

参加者： ワーキング会議 63 名，公開講座 64 名

実行委員長: 熊谷章（タオベアーズ)，小池太（日立製作所)

プログラム委員長: 山田正樹（メタボリックス)，飯田周作（専修大学)，
栗田太郎（フェリカネットワークス)

第 29 回 Software Symposium 2009

期日： 2009 年 6 月 17 日(水)～19 日(金)

会場：かでる２・７ 北海道立道民活動センター（北海道札幌市)

参加者：90 名

実行委員長: 中谷多哉子(筑波大学/エス・ラグーン)　熊谷 章(タオベアーズ)

プログラム委員長: 鈴木 裕信(鈴木裕信事務所)　中野 秀男(大阪市立大学)

第 28 回 Software Symposium 2008

期日： 2008 年 6 月 25 日(水)～27 日(金)

会場：かがわ国際会議場　＆　サンポートホール高松（香川県高松市)

参加者： 112 名

実行委員長: 古川善吾(香川大学)　中谷多哉子(筑波大学/エス・ラグーン)

プログラム委員長: 垂水浩幸(香川大学)　石川雅彦(SRA)

第 27 回 Software Symposium 2007

期日： 2007 年 6 月 27 日(水)～29 日(金)

会場：新潟市 朱鷺メッセ(新潟・新潟市)

参加者： 100 名

実行委員長: 実行委員長　小池 太(日立製作所)

プログラム委員長: 中谷 多哉子(筑波大/S ラグーン)，小笠原 秀人(東芝)

第 26 回 Software Symposium 2006

期日： 2006 年 7 月 19 日～21 日

会場： ウェルシティ熊本(熊本県・熊本市)

参加者： 134 名

実行委員長: 荒木 啓二郎(九大)，富松 篤典(電盛社)

プログラム委員長: 落水 浩一郎(JAIST)，小池　太(日立製作所)

第 25 回 Software Symposium 2005

期日： 2005 年 6 月 8 日～10 日

会場： 富山国際会議場(富山県・富山市)

参加者： 154 名

実行委員長: 近藤 康二(ソニー)

プログラム委員長: 菅原 耕一(富士フイルムソフトウエア), 藤枝 和宏(JAIST)

第 24 回 Software Symposium 2004

期日： 2004 年 6 月 22 日 ～ 24 日

会場： 岡山コンベンションホール （岡山県・岡山市)

参加者： 154 名

実行委員長: 大西荘一 (岡山理科大)

プログラム委員長: 飯田周作 (専修大学), 鈴木郁子 (シャープ)

第 23 回 Software Symposium 2003

期日： 2003 年 7 月 9 日 ～ 11 日

会場： ホテルニューキャッスル (青森県・弘前市)

参加者： 111 名

基調テーマ: 実践的ソフトウェア開発手法

実行委員長: 高橋光裕 (電力中央研究所)

プログラム委員長: 東田雅宏 (PFU), 蔵川圭 (NAIST)

第 22 回 Software Symposium 2002

期日： 2002 年 7 月 17 日 ～ 19 日

会場： 松江テルサ (島根県松江市)

参加者： 137 名

基調テーマ: 変革期のソフトウェア技術

実行委員長: 田中一夫 (JFITS)

プログラム委員長: 青山幹雄 (南山大学), 阪井誠 (SRA-KTL)

第 21 回 Software Symposium 2001

期日： 2001 年 6 月 13 日 ～ 15 日

会場： 高知会館(高知県・高知市)

参加者： 136 名

実行委員長: 楠瀬昌彦 (元・高知大学), 熊谷章 (PFU)

プログラム委員長: 塩谷和範 (SRA-KTL), 松本健一 (NAIST)

第 20 回 Software Symposium 2000

期日： 2000 年 6 月 21 日 ～ 23 日

会場： 金沢市文化ホール(石川県・金沢市)

参加者： 161 名

実行委員長: 落水浩一郎（北陸先端科学技術大学院大学)

新森昭宏（インテック W&G インフォマティクス)

プログラム委員長: 新田稔（プライスウォーターハウスクーパースコンサルタント)

野呂昌満（南山大学)

第 19 回 Software Symposium 1999

期日: 1999 年 6 月 16 日～18 日

会場: 盛岡マリオス

参加者: 116 名

実行委員長: 熊谷章 (PFU), 野村行憲 (ICS)

プログラム委員長: 鯵坂恒夫（和歌山大学), 端山毅 (NTT Data)

第 18 回 Software Symposium 1998

期日: 1998 年 6 月 17 日～ 19 日

会場: 大阪市立大学（大阪府・大阪市)

参加者: 193 名

基調テーマ: 共鳴と発展

実行委員長: 中野秀男（大阪市立大学), 田中一夫 (JFITS)

プログラム委員長: 落水浩一郎 (JAIST), 伊藤昌夫（ニルソフトウェア)

第 17 回 Software Symposium 1997

期日: 1997 年 6 月 18 日～ 20 日

会場: 福岡ソフトリサーチパーク（福岡県・福岡市)

参加者: 208 名

実行委員長: 武田淳男（安川電機), 高橋光裕（電力中央研究所)

プログラム委員長: 荒木啓二郎（九州大学), 酒匂寛 (Designer's Den)

第 16 回 Software Symposium 1996

期日: 1996 年 6 月 5 日～ 7 日

会場: 広島国際会議場（広島県・広島市)

参加者: 144 名

基調テーマ: 地域社会から「知域」社会へ

実行委員長: 坂本啓司（オムロン)

プログラム委員長: 大場充（広島市立大学), 高橋光裕（電力中央研究所)

第 15 回 Software Symposium 1995

期日: 1995 年 6 月 13 日 ～ 16 日

会場: ラフォーレ琵琶湖（滋賀県・守山市）

参加者: 160 名

実行委員長: 中野秀男（大阪市大）

プログラム委員長: 佐伯元司（東工大), 坂本啓司（オムロン）

第 14 回 Software Symposium 1994

期日: 1994 年 6 月 15 日 ～ 17 日

会場: 金森ホール（北海道・函館市）

参加者: 101 名

実行委員長: 杉田義明（日本 NCD）

プログラム委員長: 玉井哲雄（東京大学), 渡邉雄一（アスキー）

第 13 回 Software Symposium 1993

期日: 1993 年 6 月 9 日 ～ 11 日

会場: 仙台市戦災復興記念館（宮城県・仙台市）

参加者: 170 名

基調テーマ: ダウンサイジング時代の新パラダイムを探る

実行委員長: 野口正一（日本大学), 山本保（東北コンピュータ・サービス）

プログラム委員長: 二木厚吉（北陸先端科学技術大学院大学), 堀江進（日本電気ソフトウェア）

第 12 回 Software Symposium 1992

期日: 1992 年 6 月 6 日 ～ 11 日

会場: 長野県農協ビル（長野県・長野市）

参加者: 160 名

基調テーマ: ネットワーク時代における分散開発環境

実行委員長: 市川寛(電算)

プログラム委員長: 岸田孝一(SRA), 中野秀男(大阪大学)

第 11 回 Software Symposium 1991

期日: 1991 年 6 月 11 日 ～ 12 日

会場: 名古屋国際会議場（愛知県・名古屋市）

参加者: 280 名

実行委員長: 野村敏次(日本電子計算)

プログラム委員長: 落水浩一郎(静岡大学), 熊谷章(PFU)

第 10 回 Software Symposium 1990

期日: 1990 年 6 月 7 日 ～ 8 日

会場: 京都リサーチパーク（京都府・京都市）

参加者: 280 名

実行委員長: 盛田政敏(神戸コンピューターサービス)

プログラム委員長: 鳥居宏次(大阪大学), 臼井義美(日本電子計算)

第 9 回 Software Symposium 1989

期日: 1989 年 6 月 14 日 ～ 15 日

会場: 虎の門パストラル（東京・港区）

参加者: 270 名

実行委員長: 林香(SRA)

プログラム委員長: 飯沢恒（三菱電機東部コンピュータシステム）

藤野晃延（富士ゼロックス情報システム）

第 8 回 Software Symposium 1988

期日: 1988 年 6 月 8 日 ～ 9 日

会場: 虎の門パストラル（東京・港区）

参加者: 約 300 名

実行委員長: 高田佳彦（日本電子計算）

プログラム委員長: 藤野晃延（富士ゼロックス情報システム), 林香（SRA）

第 7 回 Software Symposium 1987

期日: 1987 年 6 月 4 日～5 日

会場: 虎の門パストラル（東京・港区）

参加者: 約 350 名

実行委員長: 岡田正志（日本電気ソフトウェア）

プログラム委員長: 高田佳彦（日本電子計算), 林香（SRA）

第 6 回 Software Symposium 1986

期日: 1986 年 6 月 4 日～5 日

会場: 虎の門パストラル（東京・港区）

参加者: 約 300 名

実行委員長: 村山公士（TDC）

プログラム委員長: 岡田正志（日本電気ソフトウェア）

第5回 Software Symposium 1985

期日: 1985 年 6 月 6 日～7 日

会場: 虎の門パストラル（東京・港区）

参加者: 約 300 名

実行委員長: 遠藤靖彦(CAC)

プログラム委員長: 村山公士(TDC)

第4回 Software Symposium 1984

期日: 1984 年 6 月 5 日～6 日

会場: ホテル高輪（東京・港区）

参加者: 約 300 名

実行委員長: 玉井哲雄(三菱総合研究所)

プログラム委員長: 遠藤靖彦(CAC)

第3回 Software Symposium 1983

期日: 1983 年 6 月 20 日～21 日

参加者: 約 300 名

実行委員長: 吉村鐵太郎(管理工学研究所)

プログラム委員長: 玉井哲雄(三菱総合研究所)

第2回 Software Symposium 1982

期日: 1982 年 2 月 9 日～10 日

会場: 都市センター（東京・千代田区）

参加者: 約 230 名

実行委員長: 鈴木弘(構造計画研究所)

プログラム委員長: 吉村鐵太郎(管理工学研究所)

第1回 Software Symposium 1980

期日: 1980 年 12 月 10 日～11 日

会場: 都市センター（東京・千代田区）

参加者: 約 200 名

実行委員長: 岸田孝一(SRA)

プログラム委員長: 鈴木弘(構造計画研究所)
